

## 瀬戸内タウンミーティング（鹿忍地区）

平成 22 年 11 月 18 日（木）19 時～21 時

牛窓町公民館鹿忍分館

参加者：男性 12 人、女性 5 人、計 17 人

### 市民から出た意見と市長の回答

・海遊文化館に地域のだんじりを貸し出す際に、運搬費の 1 万円を後日支払うと観光協会から言われて 1 か月経つが何も連絡が無い。市から観光協会に指導をしてもらいたい。

（市長）観光協会に確認する。

・近年の猛暑は今後も続くと思う。子どもが熱中症になっても困るので小中学校の教室にエアコンを入れては。

（市長）熱中症対策の指導を徹底するのはもちろんだが、いざという時のためのエアコン、という考え方もある。意見を教育委員会に伝える。

・小中学校が廃品回収をしているが、同じ時期に実施されることが多い。時期を調整してある程度溜まった段階で廃品回収に協力できるようにしてもらいたい。

（市長）教育委員会に意見を伝え、小中学校の間で調整できるか話し合ってもらおう。

・ごみの減量がどれくらい進捗しているかを公共施設に貼りだすようにしてくれれば減量の励みになる。

（市長）ごみダイエット通信を通じてお知らせしているが、さらに取り組んだ成果が見える仕組み、やり方を考えたい。

・保育園の新設で今運営している保育園がつぶれるようなことにはならないか。

（市長）来年度は定員 80 人の保育園が開園する。邑久と長船は入園希望が多く、ホール保育を行っている。市立保育園の定員を少なくすることで市立保育園のホール保育を解消すると同時に新設の保育園へ誘導することを考えている。ただ、兄弟で保育園に通う世帯もあるので、どのような動きになるか慎重に様子を見ながら移行させていく。

・職員が市民の模範になるよう指導をお願いしたい。

(市長) 気づいたところがあれば言ってほしい。

・西脇の岬地区のごみステーションが県道沿いにあり、地区からかなり離れている。道幅の問題で収集車の転回ができないかもしれないが、何とか地区の近くまで収集に来てもらうことはできないか。

(市長) 生活環境課に相談してもらいたい。

・自治会で溝掃除をした際のダンプ借上げ料が今年度から市民活動応援補助金により半額までしか補助が出ない。全額補助にしてほしい。

(市長) 市民活動団体と自治会、両方同じ制度で補助金を出していることについて、自治会の方からいろいろ苦情をいただいている。自治会を分けて考えることができないかと考えている。もう少し使いやすい補助金制度にしていくよう検討を指示しているので時間をいただきたい。

・溝掃除について、半額だけの補助であるにも関わらず手続きが面倒なので、今は補助金申請をしていない。将来的には溝掃除をやめることも考える。以前の補助制度に戻してほしい。牛窓の自治会は施設を持っている。アパート等で結成した自治会とは支出の量が違うことを認識してもらいたい。

(市長) 補助金の原資は税金であり、正しい使い方をしているという証明ができないものに支出することはできない。溝掃除も含め、何もかもすべて市がやるというなら今の税額ではまったく足りないので増税をお願いせざるを得ない。自治会にある施設等の維持管理経費という観点については、防犯灯の数、溝の長さ、道路の長さなど、あらゆる要因を算定する交付税方式にしないと不公平が生じる可能性がある。

・防犯灯の球交換を中国電力が来年度から行わないとのことだが、どのようにするのか。

(市長) 管理者が市だったり自治会だったりするが、何とか手間をかけず、混乱しない方法を考えている。決まり次第、お知らせする。

・郵便局から公民館分館までの道路が狭く、歩道が無い。手押し車を押して歩く人がいるので何か安全対策はできないか。

(市長) また見に行かせてもらう。